

六郷堀・七郷堀(宮城県仙台市)事例

背景

六郷堀・七郷堀には農業用水の利用がない冬期には水が流れないため、水の潤う水路の復活や景観回復、生活排水などの流入による悪臭対策など、通水により改善してほしいとの地域住民から要望があった。これを受け、地域住民、市、県、国による協議会において、連携して環境用水の通水の実現に取り組んだ。

試験通水の概況

<流れの回復>

- 愛宕堰(一級水系名取川水系広瀬川)から 0.3 m³/s の取水をすることにより、六郷堀、七郷堀等の各水路での流れが回復。

<水質の改善>

- BOD、SS、臭気ともに、通水前に比べて大幅に改善。

BOD : 131mg/l → 1mg/l

SS : 83mg/l → 3mg/l

臭気 : 100TON → 3TON

(試験通水した7水路の観測地点(8地点)中、仙台堀の例)

BOD: 水中の物質が微生物によって分解される時に必要な酸素量。 SS : 水中に浮遊又は懸濁している物質の量。

通水前

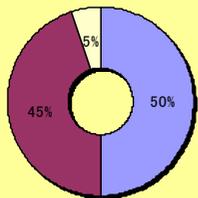


通水後



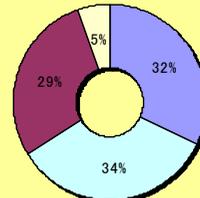
住民アンケートの結果

◎通水により景観はどうなりましたか。



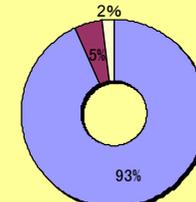
■ 良くなった
■ あまり変わらない
□ その他

◎通水により悪臭はどうなりましたか。



■ 無くなった
□ 少なくなった
■ あまり変わらない
□ その他

◎非かんがい期の通水について。



■ 可能な限り通水して欲しい
■ あまり必要ない
□ その他

※仙台地域水循環協議会の行ったアンケート調査による。

現状について

5回にわたる試験通水(H11～16)における水質浄化等の効果の調査結果や地域住民を対象としたアンケートの結果から、その有効性が確認できたことから、平成17年1月より浄化及び修景を目的とした冬期の水利使用について許可した。